

「KKR札幌医療センター医学雑誌」投稿規定

(2024年7月改定)

1. 本誌はKKR札幌医療センターの機関誌として年1回以上発行する。
2. 本誌に掲載する論文は、KKR札幌医療センター職員及びその関係者などの投稿による。
3. 本誌は総説、臨床研究、症例報告に関する論文で未発表のもの、研究業績（学会発表及び雑誌掲載論文記録など）、その他各科、各部局各委員会の活動内容からなる。
4. 論文作成においてはヘルシンキ宣言及び国により策定された医学研究に関する最新の法令および指針の規定を遵守すること。具体的には「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」及び「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス（平成29年厚生労働省）」などの指針を念頭に個人情報保護に留意した記述をすること。
5. 投稿論文の採否は査読者による査読結果に基づき、編集委員会が決定する。
6. 編集の都合により原文の論旨を変えない範囲内で著者に訂正を求めることがある。
7. 校正は原則として初校だけを著者が行うことにする。校正は誤植の訂正程度にとどめること。
8. 原稿は原則として邦文、パソコン原稿とし、横書き。専門用語以外はひらがな・当用漢字・現代仮名遣いを用い、句読点は正確に書くこと。印字された原稿のほかに、電子媒体も提出する。
9. 数字は算用数字を用い、度量衡単位はmm、cm、mg、%、℃などを用いる。
10. 表題、著者名、所属、要旨（400字以内）、キーワード（5語以内）を記載したのちに本文を記載する。
11. 可能なかぎり本文の後に、英語表記にて表題、著者名、所属、要旨、キーワードを記載する。
12. 論文は本文：原稿用紙25枚以内（図、表は原稿用紙1枚として計算する）、ただし総説は30枚以内とする。
13. 原著は要旨、はじめに、方法、結果、考察、結論、文献、症例報告は要旨、はじめに、症例、考察、結語、文献の体裁をとること。総説の体裁については、論文の内容に応じて適宜設定すること。
14. 図表は原稿とは別に作製し、標題及び簡単な説明をつけること。
15. 図表・写真は可能な限り白黒とすること。
16. 図・写真は下に説明をつけ、図・表・写真とも本文中に挿入箇所を明記すること。
17. 薬品名（欧文）は頭文字を大文字で、一般名は小文字で記載する。
18. 引用論文は主要論文のみとし20以内にとどめること。
引用文献の書き方は次の様式による。
 - 1) 記載順序は、引用順とし本文に引用した個所の右肩に¹⁾ ²⁾のように番号を付し、本文中の末に一括して挙げ1)、2)、のように書く。
 - 2) 雑誌の場合：著者名（4人目以降の著者を省略可能）：論文名、誌名、発行年；巻：頁－頁を明記すること。
外国雑誌の場合はIndex Medicus、邦文誌は「日本医学雑誌略年表」による略号を使う。
 - 3) 単行本の場合：著者名：論文題名、編集者名：書名、版表示、出版社名、発行年、頁－頁
記載例）
 - 1) 鈴木潤一，佐々木香織，足立智昭，他：24時間食道内pH測定による気管支喘息患者の胃食道逆流の解析. 日消誌 1997；94：519－525
 - 2) Kim CK, Chung CY, Choi SJ. et al. : Bronchoalveolar lavage cellular composition in acute asthma and acute bronchiolitis. J Pediatr 2000；37：517－522
 - 3) 田島治：躁うつ病の薬物療法. 加藤忠史(編)：躁うつ病はここまでわかった. 日本評論社. 2007, 27－53
19. 研究業績への投稿は以下の書式によること。
 - 1) 学会発表の場合（総会、地方会、その他の研究会など）：所属発表者（全員 Full Name）、演題名、発表学会名（第○回も必ず）、発表年・月
 - 2) 論文の場合：著者名（全員 Full Name）：論文題名、発表雑誌、発行年（西暦）、巻：頁－頁
 - 3) 他施設との共同発表または共著の場合には、筆頭者以外の他施設所属者名を省略しても良い。
20. 掲載料は無料とし、掲載原稿には掲載誌1部と別刷15部を贈呈する。それ以上の別刷は実費負担とする。
21. この投稿規定は編集委員会にて変更されることがある。